

まちづくり大学第10期A③  
**大阪狭山市の歴史と魅力**

2014. 9. 20 13:30～

吉井克信(歴史文化グループ)

ようこそ  
大阪府立狭山池博物館へ

来館日 平成26年9月20日



先人が残した1400年に  
わたる土木技術の粋を  
ごゆっくりご覧下さい

河内名所図会より  
享保元年  
(一八〇一年)

短夜や  
みじかよ  
かたや  
池の  
湘中むけと

狭山池  
水の池の  
本房にころは  
狭山からん  
いはかり  
末はかか  
くみ分る

「大阪狭山市の歴史と魅力」

吉井克信（歴史文化グループ）

はじめに

身近な歴史…日常生活で出会うモノに、地域のあゆみを示す歴史情報が詰まっている

地名…市名・地区・駅・交差点 土地に刻まれた歴史

道路…街道 古い町並み、道標など往時をしのぶ

今回は、地名と道路をてがかりに、地域の魅力をさぐる。

1. 地名

(1) 市名

大阪 1496年 表記「大坂」使用例…上町台地への上り坂（今の天満橋駅から大阪城へ）

1584年 秀吉大坂城を築く（豊臣政権の首都） → 1868年に「大阪府」成立

狭山 712年成立『古事記』に「狭山」で池の築造記事。

720年成立『日本書紀』に「河内狭山の埴田の水少なし」 なぜ「さやま」なのか？

山に挟まれた土地？ ← 「谷間」なら全国に無数にある。全国の「狭山」の共通点は？

低い山にはさまれた広い谷間で、谷の奥が小高くてながめのよい、さわやかな土地

## (2) 地区名

### 東野

野（現在の西野・東野・北野田・南野田）のうち、東寄りの土地。

野とは、未開発の広い平地や、山すそのゆるやかな傾斜地を意味する。

中世には、野田荘（王家領）・狭山荘（興福寺領）の入り組んだ土地。

市内の地区では、唯一の菅生神社（野田荘惣社）の氏子。

### 池尻

狭山池の水を流し出す水下側（尻）の土地。狭山池の築造後の地名。それ以前は？

中世城郭の池尻城、狭山藩陣屋（上屋敷）、役場（北堤→現市役所）の設置場所。

並松（陣屋の城下町）、狭山新宿（狭山池樋役人の役宅30軒のうち北側15軒）。

西池尻（西池・西端）、東池尻（東池・東端）の2集落からなる。

### 狭山

地区名「狭山」の由来は、市名と同じ。

### 半田

『日本書紀』に「河内狭山の<sup>なま</sup>埴田の水少なし」

赤色で粘り気のある水田を意味する「<sup>なま</sup>埴田」が、のちに訛って「半田」に変化。

狭山神社は、古代より狭山郷の鎮守社。

北村・浦之庄・前田・東村・川向の5集落からなる。

- 茱萸木** 1641年（寛永18）、芝地「茱萸木の平」を開墾してできた新田村落。  
1263年（弘長3）の「太政官符」に「佐志久美岡」「久佐佐峰道」と出てくる。  
北から亀の甲、茱萸木（水路など計画的）、草沢の3集落からなる。
- 山本** 1702年（元禄15）に大野芝山という丘陵地を開発してできた新田村落。  
かつては、口大野（北部）・山本（西部）・山伏（東部）の3地区からなる。
- 岩室** 古代陶邑<sup>すゑひら</sup>で生産した須恵器<sup>すゑまき</sup>を貯蔵する倉庫（室<sup>むろ</sup>・倉・蔵）に由来する説が有力。  
関連する地名は、市内の岩室と、堺市側の岩室・釜室・高倉・片蔵・富蔵にある。
- 池之原** 狭山池の西側に広がる野に由来する。野とは、広い平地と、ゆるやかな傾斜地。  
江戸時代は岩室と一つの村。村名は、岩室村→1658年 池ノ原村<sup>いげのはら</sup>→1669年 岩室村。  
江戸時代の記録『岩室村年代記』中林家本・北井家本から、地区の歩みがわかる。
- 今熊** 中世に、金蔵寺の鎮守<sup>ちんじゅ</sup>として紀伊国から熊野権現<sup>くまじょう</sup>を勧請した「今熊野」に由来する。  
上今熊<sup>うへ</sup>・下今熊<sup>した</sup>・三ツ家<sup>みつゑ</sup>の3集落からなる。
- 西山台** 半田・茱萸木あたりから見て「西方の山」に由来する。近世・近代は、東端が西山新田。  
狭山ニュータウン開発にともない、1973年（昭和48）に西山台が誕生。  
「狭山ニュータウン開発」は、計画当初「西山開発」と呼んでいた。

**大野台** 狭山ニュータウン開発にともない、1973年（昭和48）に大野台が誕生。

**大野** 河内・和泉の国境にあった広大な野を意味する「大野」に由来する。

北端が堺市の大野芝・大野寺あたり、口大野（山本北）・奥山（大野）を含んでいた。

### 3) 駅名

**狭山駅** 1898年（明治31）、高野鉄道（南海高野線）の開通時に「狭山停車場」として開業。  
大小路停車場（堺東駅）との間を15分で結んだ。1973年に橋上駅化。

**大阪狭山市駅** 1917年（大正6）、「河内半田駅」として開業。レンガの積み出しに利用。  
1950年（昭和25）4月1日、「狭山遊園駅」に改称。

2000年（平成12）12月23日、「大阪狭山市駅」に改称。 ←4月1日 閉園

**金剛駅** 1937年（昭和12）にイベント最寄駅として開業。

駅名は、四国八十八箇所霊場の出開帳の第二会場「金剛園」の会場名に由来する。

1992年（平成4）、暮れのダイヤ改正で、特急・急行の停車駅に昇格。 →市の玄関

2003年（平成15）、西口駅前整備でロータリー、バス乗り場の供用を開始。

×「駅前から金剛山がよく見える」 → ○「テーマパークの会場名にちなむ」

#### (4) 交差点名

亀の甲 国道 310 号と狭山池通りのまじわる地点の交差点名。南大阪では有名。

茱萸木地区の集落名、バス停名としても、市民から親しまれている。

近くの<sup>こあま</sup>小字地名「<sup>かめのこう</sup>亀ノ甲」に由来する。もともと川や谷やくぼ地に囲まれた土地。

亀の甲羅のような乾燥した台地で、水の便が悪く、畑地に利用した。

江戸時代の「狭山池改修控絵図」に、六角形の中島「<sup>あざかめのこうやま</sup>字亀甲山」を描く。

おわり坂 いちょう通りと西高野街道のまじわる地点の交差点名。諸説あり、④が有力。

交差点から<sup>うえ</sup>上今熊へ向かう西高野街道の急な坂が「<sup>おわりざか</sup>尾張坂」。

①上今熊の尾根筋の張り出したところの坂に由来する説

②高野山から堺へ戻る最後（終わり）の難所に由来する説

③後ろから追われるように坂を下りに由来する説

④江戸時代の尾張国知多半島から来た出稼ぎ土木技術者の集団「<sup>おわりしゅう</sup>尾張衆」に由来する説

南河内の<sup>たまいげ</sup>溜池改修に尾張衆が参加

土木工事に使う大型の<sup>お</sup>鍬「尾張鍬」…狭山池博物館に展示中



## 2. 道路

- (1) <sup>にし</sup>西高野街道 堺～市内（山本・岩室・今熊・茱萸木）～河内長野市内で中・東を合流～高野山  
1里ごとの里程道標…江戸末期に建立（茱萸木村の小左衛門・五兵衛）13本すべて現存。  
岩室に「十一里」、茱萸木に「十里」。高野山の<sup>ふどうざかによにんどう</sup>不動坂女人堂までの距離を明記。
- (2) <sup>しも</sup>下高野街道 四天王寺（大阪市）～市内（狭山駅・池尻・北堤・狭山新町）～中高野街道へ合流
- (3) <sup>なか</sup>中高野街道 ～平野（大阪市）～市内（東野・池尻・半田）～伏山（富田林市）～  
～河内長野市内で西高野街道へ合流
- (4) 天野街道 上今熊～天野山金剛寺（河内長野市天野町）。自然を満喫できるハイキングコース。  
環境に配慮し、アスファルトを使わず真砂土で舗装。地下に水道管を埋設。  
金剛寺～滝畑～蔵王峠～紀ノ川～慈尊院～町石道～高野山  
戦前、南海電車が「弘法大師遺跡七不思議巡り」としてハイキングコースを設定。  
弘法大師伝承は、<sup>こうやひじり</sup>高野聖の<sup>おうかん</sup>往還経路に残る。→天野街道は中世高野聖の往還道か。
- (5) <sup>いせみち</sup>伊勢道 泉大津～福田（堺市中区）～市内（東野）～太子町（竹内街道へ合流）～伊勢神宮  
東野では、菅生神社の門前を通る東西方向の道。



## おわりに

歴史情報は、残す努力をしてこそ未来へ伝えられる。

石造物・古文書も当然必要。

緊急性が高いのは、住民の記憶の文字化。

(例) 狭山ニュータウン入居時の苦労話 1969年(昭和44)～2014年で45年経過

買い物、登園・通学・通勤など

自治組織づくり

関連資料とともに、その時代を生きた住民の「思い」を文字化して記録保存することが重要